

第59回 中部支部会員総会
議案書（報告書）

2022年6月23日（木）

ホテルメルパルク名古屋

公益社団法人 日本包装技術協会 中部支部

2021年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業報告

第 1 諸 会 議

- 1) 第58回 役員会
2021年5月27日(木) Zoom ミーティング
- 2) 第58回 中部支部会員総会
2021年6月24日(木) Zoom ミーティング
- 3) 第1回 運営委員会
2021年9月18日(金) Teams ミーティング
- 4) 2022年度 研究例会講演テーマ作業部会
2022年2月10日(木) Teams ミーティング
- 5) 第2回 運営委員会
2022年3月11日(金) Teams ミーティング

第 2 事 業

1. 研究会活動

1) 研究例会

- (1) 10月5日(火) JPI WEB フォーラム 【参加者：124名】
【日時】2021年10月5日(火) 13:30~15:00
【会場】「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
【内容】『包装技術者の育成について』
【講師】株式会社高木包装 顧問 細田 基則 氏
- (2) 10月14日(木) JPI WEB フォーラム 【参加者：91名】
【日時】2021年10月14日(木) 13:30~15:00
【会場】「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
【内容】『ビール4社によるビールパレット(Pパレ)共同回収施策の全国展開
物流分野を協調領域と位置付けた協同取り組み事例』
【講師】サッポログループ物流株式会社 ロジスティクスソリューション部
ロジスティクスソリューショングループ 丸山 武史 氏
- (3) 1月21日(金) JPI WEB フォーラム 【参加者：137名】
【日時】2022年1月21日(金) 13:30~15:00
【会場】「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
【内容】『海のプラスチックを測る、そして The Missing Plastics を追うー』
【講師】国立研究開発法人海洋研究開発機構
地球環境部門海洋生物環境影響研究センター センター長 藤倉 克則 氏
- (4) 2月15日(火) JPI WEB フォーラム 【参加者：160名】
【日時】2022年2月15日(火) 13:30~15:00
【会場】「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
【内容】『Society 5.0時代の物流・サプライチェーンにおける包装の役割』
【講師】東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 井村 直人 氏

(5) 3月4日(金) JPI WEB フォーラム 【参加者：257名】
【日時】2022年3月4日(金) 15:00~16:30
【会場】「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
【内容】『プラスチックに関する欧州及び国内の新たなルール等の動向』
【講師】三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 環境・エネルギーユニット 地球環境部
主任研究員 植田 洋行 氏・副主任研究員 仲嶋 翼 氏・研究員 小川 結 氏

(6) 包装技術講習会 【参加者：102名】
【日時】2021年11月10日(水) 13:30~16:00
【会場】「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式 ※聴講者のみ
講演者・コーディネーター・事務局については、ウインクあいち会議室等から配信。
【内容】～包装材料がひらく新たな未来ープラスチックと紙素材にみる環境対応とSDGs～
①『環境対応包装の現状 2021
～待ったなし! 脱炭素トレンドにどう向き合えばいいのか～』
(講師) フタムラ化学株式会社
中部統括開発グループ リーダー(包装専士) 花市 岳 氏
②『紙素材を建設資材へ活用して SDGs の実現と生産性向上
ー「KAMIWAZA®」の開発と実用化』
(講師) 王子インターパック株式会社 営業本部 チーフ(包装管理士) 物部 公二氏
清水建設株式会社 土木技術本部 イノベーション推進部 主査 宇野 昌利 氏
【コーディネーター】
株式会社アステックコーポレーション
東日本事業所 副事業所長(包装管理士) 岡田 俊紀 氏
あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

(7) 2021日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 【参加者：77名】
【日時】2021年12月8日(水) 13:30~16:30
【会場】「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式 ※聴講者のみ
一部講演者・コメンテーター・事務局については、ウインクあいち会議室等から配信。
【内容】～2021日本パッケージングコンテスト入賞作品の包装の工夫やアイデアを知る～
①〈大型・重量物包装部門賞受賞〉
「常識を打ち破ろう! サステイナブル ユニットロードの実現」
ナビエース株式会社 営業本部販売推進部 (包装管理士) 竹内 美帆 氏
②〈贈答品包装部門賞受賞〉
「伊藤久右衛門 フラワーギフト アレンジピンポンマム」
ムサシ王子コンテナ株式会社 東海営業所
包装設計担当(包装管理士) 海原 佑紀 氏
③〈テクニカル包装賞受賞〉
「超しっかりロック」
大王パッケージ株式会社 企画部企画課 課長(包装専士) 小田 篤史 氏

④〈適正包装賞受賞〉

「高級カーナビゲーションシステムのパルプモールド包装」

ダイナパック（株） 営業本部パルプモールド開発営業部

主事（包装管理士） 清水 久司 氏

⑤〈輸送包装部門賞受賞〉

「シマオカロック」

ダイナパック株式会社 営業部設計グループ 嶋岡 颯人 氏

【コメンテーター】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室

主任研究員 佐藤 幹彦 氏

2) 講演会

第58回中部支部会員総会記念講演会 【参加者：41名】

【日時】2021年6月24日（木） 14:00～16:00

【会場】Zoom ウェビナー（オンラインセミナー形式）

【内容】「空飛ぶクルマが実現する私たちの社会と交通の未来」

（講師）慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

顧問（元教授） 中野 冠 氏

3) 見学会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

4) 第61回包装技術研究大会中部大会 【参加者：89名】

【日時】2022年2月22日（火） 13:30～17:20

【会場】「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式 ※聴講者のみ

一部講演者・コーディネーター・事務局については、ウイックあいち会議室等から配信。

【内容】～包装改善の取り組み事例紹介と環境配慮パッケージ・物流技術の最新状況～

①『スターター集合包装改善』

ナビエース株式会社 営業本部販売推進部（包装管理士） 山田 祐也 氏

②『段ボールの材質変更による包装改善』

京セラ株式会社 コーポレート経営管理本部物流部国内第1物流部

岡谷物流課（包装管理士） 五味 果那美 氏

③『BIB向けバリアシーラントフィルムの破袋強度の向上』

株式会社アイセロ 技術開発本部（包装管理士） 鳥居 祐紀 氏

④【特別講演①】

『持続可能な社会の実現のために』

DNP 環境配慮パッケージング「GREEN PACKAGING」』

大日本印刷株式会社 包装事業部第2BIセンター中部営業本部 原田 惇志 氏

大日本印刷株式会社 包装事業部第2BIセンター中部営業本部 川口 佳奈美 氏

⑤【特別講演②】

『「スマートロジスティクス」の今と「LOGISTEED」が切り拓く物流の未来』

株式会社日立物流 スマートロジスティクス推進部 部長 舘内 直 氏

【コーディネーター】

名港海運株式会社 営業第一部 部長（包装管理士） 鳥居 晃好 氏
ホーユー株式会社 生産・物流本部品質保証部品質保証2課
担当課長（包装管理士） 丹羽 喜一 氏

5) 包装研究懇話会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

2. 研修活動

1) 2021年度包装設計の基礎講座 【参加者：23名】

【日時】 5月13日（木）、14日、（金）

【会場】 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【内容】

（第1日目）

〈包装の役割と包装設計の考え方〉

- ・包装の社会的役割
- ・適性包装に向けて包装設計の考え方

三菱電機ロジスティクス株式会社 物流技術部 主管（包装管理士） 星野 弘行 氏

〈段ボール箱の基礎と応用〉

- ・段ボールの構造と原紙種類
- ・段ボール箱の規格と製造工程
- ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 開発本部製品開発部 専任部長（包装管理士） 澤田 幸美 氏

〈段ボール箱の設計〉

- ・段ボール箱の設計手順
- ・段ボール箱の設計要因と劣化要因
- ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 開発本部製品開発部 専任部長（包装管理士） 澤田 幸美 氏

〈段ボール箱の製作〉

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック株式会社 開発本部製品開発部 専任部長（包装管理士） 澤田 幸美 氏

〈機能性プラスチック包装材料〉

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例
- ・包装材料を取り巻く世界の法規制

株式会社アイセロ商品開発本部 開発2部 主査 溝端 一幸 氏

（第2日目）

〈緩衝包装設計〉

- ・緩衝包装の目的
- ・緩衝材の種類
- ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

〈包装試験の目的と試験法〉

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任 飯田 恭平 氏

〈包装試験施設の見学〉

包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他

〈トータルコスト削減に向けた集合包装〉

- ・トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機株式会社 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部設計技術開発グループ 新井 達也 氏

〈包装改善とロジスティクス〉

- ・ロジスティクスの中での包装の役割 ・輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室

室長（包装管理士）佐藤 嘉和 氏

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部Teamsを利用したオンライン講義で実施

2) 第56期包装管理士講座

（名古屋会場受講者：62名／輸送包装コース：32名、生活者包装コース：30名）

※全カリキュラムをオンラインで実施

〈統括教科〉1日間／5教科

○全受講者：6月9日（水）開講

〈材料教科〉3日間／6教科

○全受講者：6月16日（水）～18日（金）開講

〈専門教科〉4日間／8教科（コース別）

○輸送：6月29日（火）～7月2日（金）開講

○生活者：7月6日（火）～7月9日（金）開講

〈ケーススタディ補講〉1日間（コース・専攻別）

○輸送：9月6日（月）開講

○生活者：9月2日（木）開講

〈包装管理士試験〉1日間

○全受講者：8月23日（月）実施

・第56期包装管理士合格証書授与式・交流会 【合格者：60名】 ※開催中止

3. 会員交流活動 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いずれも開催中止

1) 第58回 中部支部会員総会 会員交流会 ※開催中止

2) 2022年中部包装界新年賀詞交歓会 ※開催中止

4. その他関連事業

1) 暮らしの包装商品展2021

開催日：2021年10月7日（木）～8日（金）

開催場所：KITTE（東京駅）地下1階 東京シティアイパフォーマンスゾーン

内容：2021 グッドパッケージング展・2021（第45回）木下賞受賞作品展

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、企業ブースの展示はなし。

来場者数：2,948名（2日間合計）

2) 第59回全日本包装技術研究大会 福岡大会

開催日：2021年12月2日（木）～3日（金）

開催場所：電気ビル共創館（福岡市）

内容：2部会 38件発表・公式参加者数 198名

3) 中部支部事務所移転

【日時】 2021年9月21日（火）～

【移転先】 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 3-5-21 錦 HOTEL ビル 3D

TEL：052-228-2930/FAX：052-228-2980

（最寄り駅：市営地下鉄 久屋大通駅）

第 3 組 織

会員動勢（2021年4月1日～2022年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

| 2021年度期首 | 2021年度 | | |
|----------|------------|------------|-------------|
| 1014社 | 入会数 13社 | 退会数 37社 | 現在数 990社 |

2. 個人会員

| 2021年度期首 | 2021年度 | | |
|----------|------------|------------|-------------|
| 149名 | 入会数 18名 | 退会数 27名 | 現在数 140名 |

<会員登録動勢一覽>

| | | 2021年 4月1日 | 本年度 | | 2021年 合計(3月末) |
|--------|----|----------------|------------|-------------|------------------|
| | | | 入会 | 退会 | |
| 会員総数 | | 1163 | 31 | 64 | 1130 |
| 法人 | | 1014社 | 13社 | 37社 | 990社 |
| (口数) | | (1041) | (13) | (37) | (1017) |
| 個人 | | 149名 | 18名 | 27名 | 140名 |
| 登録員数 | 法人 | 1014社 2724名 | 13社 27名 | 37社 110名 | 990社 2641名 |
| | 個人 | 149名 | 18名 | 27名 | 140名 |
| | 合計 | 2873名 | 45名 | 137名 | 2781名 |
| 本部(東京) | 法人 | 1569名 | 12名 | 59名 | 1522名 |
| | 個人 | 71名 | 9名 | 15名 | 65名 |
| 関西支部 | 法人 | 595名 | 6名 | 19名 | 582名 |
| | 個人 | 41名 | 6名 | 9名 | 38名 |
| 中部支部 | 法人 | 382名 | 8名 | 27名 | 363名 |
| | 個人 | 19名 | 2名 | 1名 | 20名 |
| 西日本支部 | 法人 | 91名 | 1名 | 3名 | 89名 |
| | 個人 | 5名 | 1名 | 1名 | 5名 |
| 北海道支部 | 法人 | 47名 | 0名 | 2名 | 45名 |
| | 個人 | 2名 | 0名 | 1名 | 1名 |
| 東北支部 | 法人 | 40名 | 0名 | 0名 | 40名 |
| | 個人 | 11名 | 0名 | 0名 | 11名 |

2021年度 中部支部事業別実施状況報告

2021年4月1日～2022年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

〈収入の部〉

単位：円(税込)

| 科目 | 事業名 | 予算(A) | 実施(B) | 差異(A-B) |
|------|---------------|-----------|---------|---------|
| 研修事業 | (包装管理士講座) | | | |
| | 包装設計の基礎講座 | 1,155,000 | 896,500 | 258,500 |
| | 研究例会 | 18,700 | 0 | 18,700 |
| | 包装技術研究大会 中部大会 | 11,000 | 11,000 | 0 |
| | 包装研究懇話会【中止】 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 |
| | (全日本包装技術研究大会) | | | |
| 交流事業 | 見学会【中止】 | 115,500 | 0 | 115,500 |
| 行事 | 新年会【中止】 | 165,000 | 0 | 165,000 |
| 受取利息 | 受取利息 | 0 | 20 | ▲20 |
| 合計 | | 1,465,200 | 907,520 | 557,680 |

〈支出の部〉

単位：円(税込)

| 科目 | 事業名 | 予算(A) | 実施(B) | 差異(A-B) |
|------|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 研修事業 | (包装管理士講座) | | | |
| | 包装設計の基礎講座 | 600,000 | 412,256 | 187,744 |
| | 研究例会 | 749,000 | 412,368 | 336,632 |
| | 包装技術研究大会 中部大会 | 426,000 | 176,337 | 249,663 |
| | 包装研究懇話会【中止】 | 58,000 | 0 | 58,000 |
| | | | | |
| | (全日本包装技術研究大会) | | | |
| 交流事業 | 見学会【中止】 | 278,000 | 0 | 278,000 |
| 行事 | 新年会【中止】 | 1,702,000 | 0 | 1,702,000 |
| 合計 | | 3,813,000 | 1,000,961 | 2,812,039 |

*「包装管理士講座」・「全日本包装技術研究大会」は、本部事業につき上記研修事業内に含まれておりません。

*上記事業報告は、6月7日(火)開催の本部総会資料の一部抜粋です。したがって、支部の運営予算を示したものではありません。

*上記科目を含めた年会費・運営費等の間接配賦は本部で一括管理しております。

2022年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業計画

第 1 諸 会 議

- 1) 第59回 中部支部役員会 5月26日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第59回 中部支部会員総会 6月23日(木) メルパルク名古屋
- 3) 第1回 運営委員会 9月16日(金) 名鉄グランドホテル
第2回 運営委員会 2023年3月10日(金) 名鉄グランドホテル
- 4) 次年度研究例会等講演テーマ検討作業部会 2023年2月 (日程・開催形式未定)

第 2 事 業

1) 研究会活動

(1) 研究例会

- ①JPI WEB フォーラム(包装資材) (JPI 全支部共同ウェビナー/日程等詳細未定)
- ②JPI WEB フォーラム(輸送包装) (JPI 全支部共同ウェビナー/日程等詳細未定)
- ③JPI WEB フォーラム(生活者包装) (JPI 全支部共同ウェビナー/日程等詳細未定)
- ④JPI WEB フォーラム(包装技術) (JPI 全支部共同ウェビナー/日程等詳細未定)
- ⑤包装技術講習会 11月9日(水) 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
- ⑥2022日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会
12月7日(水) 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

(2) 会員総会記念講演会 6月23日(木) メルパルク名古屋

(3) 見学会 9~10月 (日程等詳細未定)

(4) 第62回包装技術研究大会中部大会

2023年2月16日(木) 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

(5) 包装研究懇話会

2023年3月上旬 (日程等詳細未定)

2) 研修活動

(1) 2022年度包装設計の基礎講座 5月12、13日(木、金) 愛知県技術開発交流センター

(2) 第57期包装管理士講座 6月~8月 オンライン開講

6月・9月 集合・合宿研修 ロワジールホテル豊橋

(3) 第57期包装管理士合格証書授与式 11月4日(金) ホテルサンルートプラザ名古屋

3) 交流活動

(1) 第59回 会員総会・交流会 6月23日(木) メルパルク名古屋

(2) 2023年中部包装界新年賀詞交歓会

2023年1月19日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル

4) その他

(1) 第60回全日本包装技術研究大会札幌大会

11月17、18日(木、金) ニューオオタニイン札幌

(2) 東京国際包装展(TOKYO PACK) 10月12~14日(水~金) 東京ビッグサイト

2022年度 中部支部事業別実施計画

2022年4月1日～2023年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

〈収入の部〉

単位：円(税込)

| 科 目 | 事 業 名 | 2022年度概算 (A) | 2021年度予算 (B) | 増減(A-B) |
|------|---------------|-----------------|-----------------|---------|
| 研修事業 | (包装管理士講座) | | | |
| | 包装設計の基礎講座 | 1,155,000 | 1,155,000 | 0 |
| | 研究例会 | 18,700 | 18,700 | 0 |
| | 包装技術研究大会 中部大会 | 11,000 | 11,000 | 0 |
| | 包装研究懇話会 | 0 | 0 | 0 |
| | (全日本包装技術研究大会) | | | |
| 交流事業 | 見学会 | 115,500 | 115,500 | 0 |
| 行 事 | 新年会 | 165,000 | 165,000 | 0 |
| 受取利息 | 受取利息 | | | 0 |
| 合 計 | | 1,465,200 | 1,465,200 | 0 |

〈支出の部〉

| 科 目 | 事 業 名 | 2022年度概算 (A) | 2021年度予算 (B) | 増減(A-B) |
|------|---------------|-----------------|-----------------|---------|
| 研修事業 | (包装管理士講座) | | | |
| | 包装設計の基礎講座 | 660,000 | 600,000 | 60,000 |
| | 研究例会 | 749,000 | 749,000 | 0 |
| | 包装技術研究大会 中部大会 | 376,000 | 426,000 | ▲50,000 |
| | 包装研究懇話会 | 58,000 | 58,000 | 0 |
| | (全日本包装技術研究大会) | | | |
| 交流事業 | 見学会 | 278,000 | 278,000 | 0 |
| 行 事 | 新年会 | 1,702,000 | 1,702,000 | 0 |
| 合 計 | | 3,823,000 | 3,813,000 | 10,000 |

- *「包装管理士講座」・「全日本包装技術研究大会」は、本部事業につき上記研修事業内に含まれておりません。
- *上記事業計画は、6月7日(火)開催の本部総会資料の一部抜粋です。したがって、支部の運営予算を示したものではありません。
- *上記科目を含めた年会費・運営費等の間接配賦は本部で一括管理しております。

2022年度中部支部役員

(敬称略/50音順) (○印:新役員)

| | | | |
|------|--------|-----------------|--------------------|
| 支部長 | 福田 博昭 | 京セラ(株) | 経営管理本部物流部 副部長 |
| 顧問 | 岡崎 彰徳 | (株)デンソーロジテム | 代表取締役社長 |
| 副支部長 | ○山口 知宏 | あいち産業科学技術総合センター | 産業技術センター長 |
| 副支部長 | 山口 淳 | 名港海運(株) | 常務取締役 |
| 役員 | ○右京 貴顕 | レンゴー(株) | 理事 中部事業部長 |
| | 石山 隆通 | トヨタ自動車(株) | サービス・物流部上郷管理課長 |
| | 伊藤 公一 | フタムラ化学(株) | 常務取締役 PF生産物流本部長 |
| | 撰 幸昌 | 日本通運(株) | 名古屋支店 次長(業務) |
| | 大辻 誠 | ナビエース(株) | 代表取締役社長 |
| | ○小林 俊幸 | ホーユー(株) | 生産・物流本部品質保証部長 |
| | ○佐藤 武 | (株)Mizkan | 執行役員 仕入統括部長 |
| | 佐藤 嘉和 | (株)デンソーロジテム | 物流サービス本部 包装管理室長 |
| | 杉山 昌樹 | 笹徳印刷(株) | 代表取締役社長 |
| | ○伊達 賢治 | 明治チューインガム(株) | 代表取締役社長 |
| | 戸田紳一郎 | 東海漬物(株) | 取締役常務執行役員 漬物機能研究所長 |
| | ○鳥居 晃好 | 名港海運(株) | 営業第一部長 |
| | 新津 重人 | (株)チューゲン | 代表取締役社長 |
| | ○野澤 政司 | ダイナパック(株) | 取締役専務執行役員 経営企画室長 |
| | 松岡 孝 | (一財)中部生産性本部 | 専務理事 |
| | 見田 昌靖 | 見田工作(株) | 代表取締役社長 |
| | 宮田 敏弘 | (株)フジキカイ | 取締役 営業本部長 |
| | 盛田 智 | (株)アイセロ | 代表取締役社長 |
| 監事 | 大澤 勝弘 | 浅野段ボール(株) | 代表取締役社長 |
| | 神谷 修 | 刈谷紙器(株) | 代表取締役会長 |

2022年度 中部支部 運営委員

(敬称略50音順) (○印：新運営委員)

| | | | |
|-------|-------|-----------------|-----------------------|
| 運営委員長 | 佐藤 嘉和 | (株)デンソーロジテム | 物流サービス本部 包装管理室長 |
| 副委員長 | 瀬戸上 裕 | 京セラ(株) | 物流部物流技術課 |
| 委員 | 井上 知木 | 見田工作(株) | 常務取締役 |
| | 大熊 強志 | (株)Mizkan | 仕入統括部原料容器開発課 主任 |
| | 大山 孝一 | ナビエース(株) | 取締役 営業本部長 |
| | 岡田 俊紀 | (株)アテック・ホレーション | 取締役 |
| ○岡部 | 智 | (株)オカベカミコン | 代表取締役社長 |
| | 神谷 強 | 刈谷紙器(株) | 代表取締役社長 |
| | 北原 圭介 | 笹徳印刷(株) | 企画制作本部 製作第1グループマネージャー |
| | 倉知 真治 | (株)チューゲン | 代表取締役専務 |
| | 後藤 圭司 | 三菱電機(株) | 名古屋製作所営業部物流グループマネージャー |
| | 柴田 幸樹 | ヤマハ発動機(株) | 組立技術部物流技術グループリーダー |
| | 鳥居 晃好 | 名港海運(株) | 営業第一部長 |
| ○長野 | 雄平 | 東海漬物(株) | 漬物機能研究所 商品開発課長 |
| | 丹羽 喜一 | ホーユー(株) | 品質保証部品質保証2課 参事 |
| | 花市 岳 | フタムラ化学(株) | 中部統括 開発グループリーダー |
| ○早川 | 貴司 | ダイナパック(株) | 開発本部関東 CSC 部長 |
| | 松田 裕行 | (株)アイセロ | 商品開発本部 副本部長 |
| | 水谷 善教 | リスパック(株) | 技術開発本部素材開発部素材チームリーダー |
| | 室 政和 | トヨタ自動車(株) | サービス・物流部上郷管理課 主幹 |
| ○山本 | 晃司 | あいち産業科学技術総合センター | 産業技術センター 環境材料室長 |
| | 吉田 将之 | 浅野段ボール(株) | 代表取締役専務 |

公益社団法人日本包装技術協会

中部支部規則

(名称および事務局)

第1条 本会は公益社団法人日本包装技術協会・中部支部と称し、事務局を愛知県内に置く。

(目的)

第2条 本規則は、公益社団法人日本包装技術協会の支部運営規則に基づき、本会の活動および運営を円滑に遂行するために定める。

第3条 本会は包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もって地域諸企業および地域経済の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 調査、研究
2. 研究会、講演会および見学会の開催
3. 研修、教育
4. 技術の指導および相談
5. 資料の蒐集整理および配布
6. 国内関係機関との連絡提携
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は公益社団法人日本包装技術協会の会員のうち主として中部地区に在住する者をもって組織する。ただし、他地区在住会員の当支部所属および当地区在住会員の他支部所属はこれをさまたげない。

2. 会員は次の2種とする。

(1)正会員

本会の目的に賛同し、入会金および会費を納めた法人または個人

(2)特別会員

学識経験者で役員会において承認されたもの

(役員および任期)

第6条 本会に次の役員を置くことができる。

- (1)支部長 1名
- (2)副支部長 若干名
- (3)役員 若干名
- (4)監事 若干名

2. 支部長は本会を代表し、会務を総理する。又、総会および役員会を召集しその議長となる。

副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代理する。

役員は役員会を通じて本会の重要会務を審議する。

監事は本会の業務および会計を監査する。

第7条 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

2. 任期中において補充された役員の任期は残任期間とする。

3. 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。

(運営委員会)

- 第8条 本会に運営委員会を置き、さらに業務の運営に必要なときは特別委員会を置くことができる。
2. 委員は業務の企画および運営の具体的方法その他を審議し、その推進にあたる。
 3. 委員長および委員は会員の中より、支部長が委嘱する。

(総会)

- 第9条 総会は年1回以上開催し、規約の改正その他重要事項を議決する。
- 第10条 総会の議決は出席者の過半数によって決する。
可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業年度)

- 第11条 本会の事業年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

- 第12条 本規則に特に定めない事項については、公益社団法人日本包装技術協会の定款および支部運営規則を準用する。

附 則

この規則は本会発足の昭和39年9月9日から実施する。

昭和39年9月9日制定
昭和56年5月29日改正
平成8年8月1日改正
平成22年10月12日改正
平成23年11月1日改正
平成24年5月17日改正